

令和5年度卒後調査まとめ  
 (令和3年3月 大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程前期課程修了生就職先事業所)

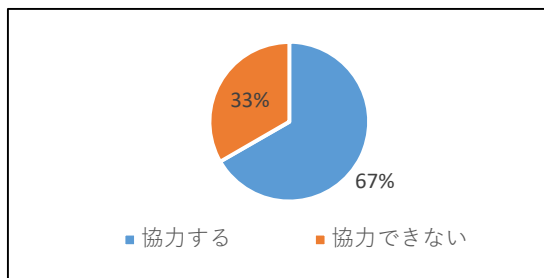
対象

卒後3年目 (R3.3月修了) の大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程善意課程修了生 (7名) が在籍する事業所	6
回答事業所数	3
回答率	50%

回答期間：令和5年12月13日（水）～令和6年1月19日（金）

1) 調査回答について

協力する	2
協力できない	1
計	3



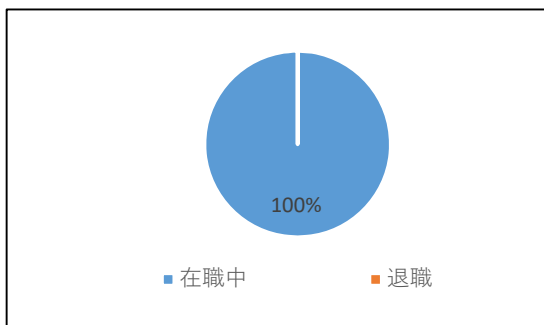
1) 調査に協力できない理由

人事評価になってしまうため

2) 在籍状況について

在職中	3
退職	
計	3

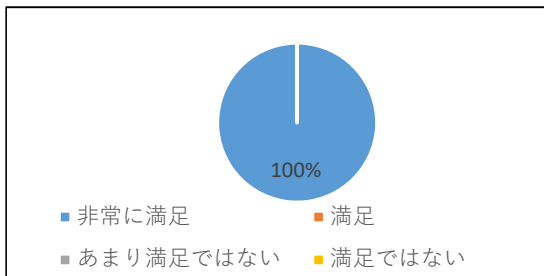
(名)



【以下、設問の対象者が複数人採用の場合は、総体的な観点からご回答をお願いします。】

3) 対象者について、どう感じていますか。該当するものを選択してください。

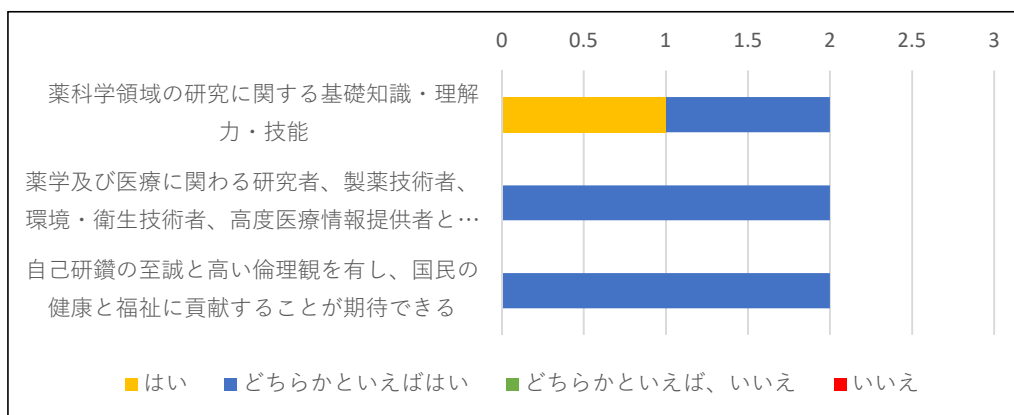
非常に満足	2
満足	
あまり満足ではない	
満足ではない	
計	2



4) 対象者について、在学中に学んだことは、身につけていると感じていますか。

※設問4は、本学ディプロマポリシーを参考にご回答ください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
薬科学領域の研究に関する基礎知識・理解力・技能	1	1		
薬学及び医療に関わる研究者、製薬技術者、環境・衛生技術者、高度医療情報提供者としての基礎的能力			2	
自己研鑽の至誠と高い倫理観を有し、国民の健康と福祉に貢献することが期待できる			2	



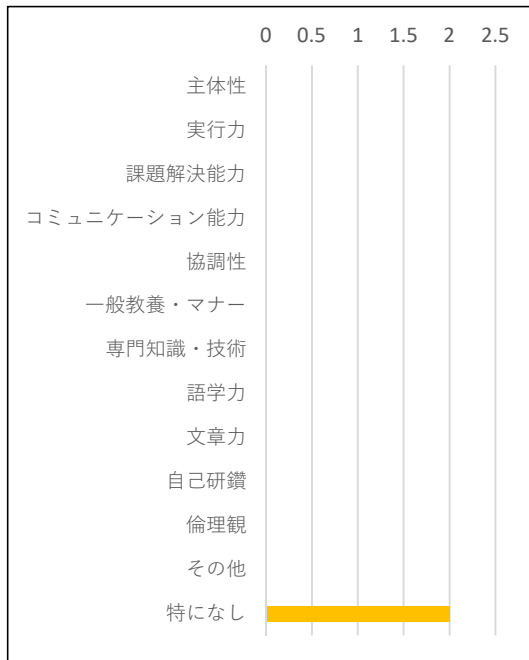
5) 対象者について、良い点（資質・能力等）について。（複数選択可）

主体性	1
実行力	
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	2
協調性	1
一般教養・マナー	
専門知識・技術	1
語学力	
文章力	
自己研鑽	1
倫理観	
その他	
特になし	



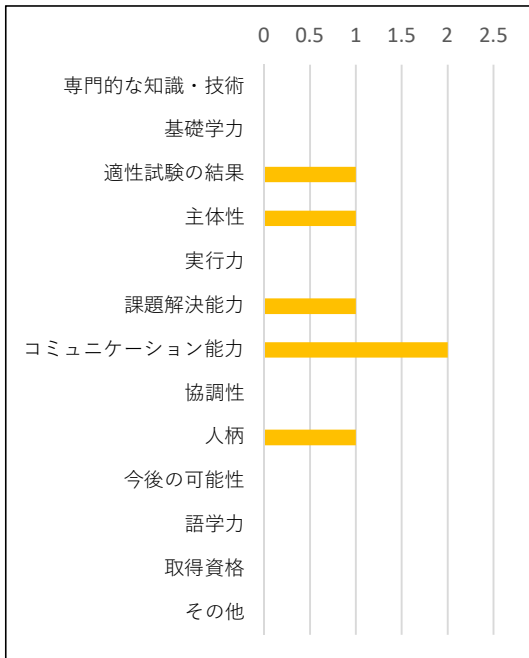
6) 対象者について、不足する点（資質・能力等）について選択してください。（複数選択可）

主体性	
実行力	
課題解決能力	
コミュニケーション能力	
協調性	
一般教養・マナー	
専門知識・技術	
語学力	
文章力	
自己研鑽	
倫理観	
その他	
特になし	2



7) 貴事業所で本学学生を採用選考するにあたり、重要視することを選択してください。（3つまで選択）

専門的な知識・技術	
基礎学力	
適性試験の結果	1
主体性	1
実行力	
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	2
協調性	
人柄	1
今後の可能性	
語学力	
取得資格	
その他	



7)採用選考するにあたり、重要視すること「その他」

品質管理部では入社、配属後に教育しますので、高度な専門的知識は求めません。コミュニケーション能力、メンタル面があることを望みます。なお、回答した対象者は、いずれも満足しております。

**令和5年度卒後調査まとめ**  
**(令和3年3月 大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程後期課程修了生就職先事業所)**

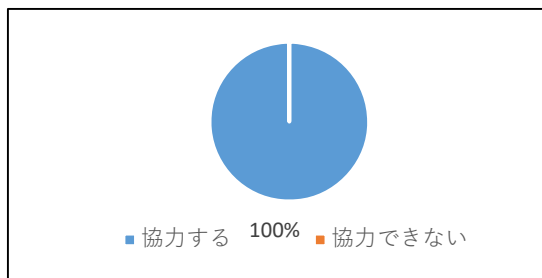
**対象**

卒後3年目 (R3.3月修了) の大学院薬学研究科博士課程後期課程修了生 (1名) が在籍する事業所	1
回答事業所数	1
回答率	100%

回答期間：令和5年12月13日（水）～令和6年1月19日（金）

**1) 調査回答について**

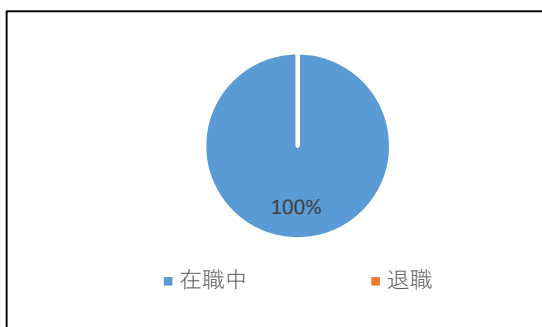
協力する	1
協力できない	
計	1



**2) 在籍状況について**

在職中	1
退職	
計	1

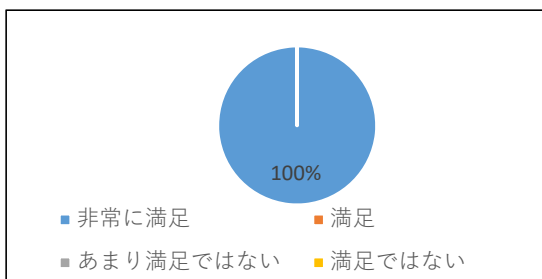
(名)



【以下、設問の対象者が複数人採用の場合は、総体的な観点からご回答をお願いします。】

**3) 対象者について、どう感じていますか。該当するものを選択してください。**

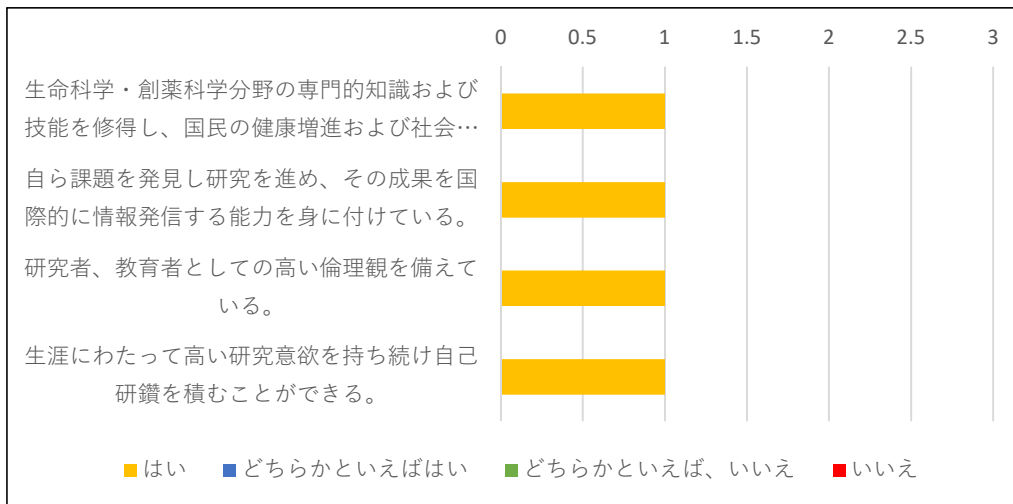
非常に満足	1
満足	
あまり満足ではない	
満足ではない	
計	1



4) 対象者について、在学中に学んだことは、身につけていると感じていますか。

※設問4は、本学ディプロマポリシーを参考にご回答ください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
生命科学・創薬科学分野の専門的知識および技能を修得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている。	1			
自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている。	1			
研究者、教育者としての高い倫理観を備えている。	1			
生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことができる。	1			



5) 対象者について、良い点（資質・能力等）について。（複数選択可）

主体性	1
実行力	1
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	1
協調性	1
一般教養・マナー	1
専門知識・技術	1
語学力	
文章力	
自己研鑽	1
倫理観	1
その他	
特になし	



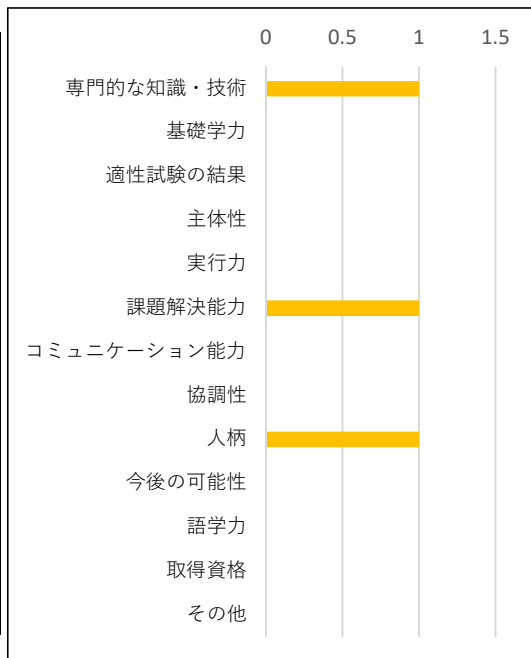
6) 対象者について、不足する点（資質・能力等）について選択してください。（複数選択可）

主体性	
実行力	
課題解決能力	
コミュニケーション能力	
協調性	
一般教養・マナー	
専門知識・技術	
語学力	1
文章力	
自己研鑽	
倫理観	
その他	
特になし	



7) 貴事業所で本学学生を採用選考するにあたり、重要視することを選択してください。（3つまで選択）

専門的な知識・技術	1
基礎学力	
適性試験の結果	
主体性	
実行力	
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	
協調性	
人柄	1
今後の可能性	
語学力	
取得資格	
その他	



**令和5年度卒後調査まとめ**  
**(令和3年3月 大学院薬学研究科薬学専攻修了生就職先事業所)**

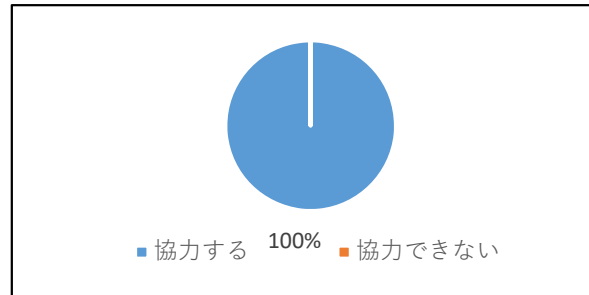
**対象**

卒後3年目 (R.3.3月卒) の大学院薬学研究科修了生 (4名) が在籍する事業所	4
回答事業所数	4
回答率	100%

回答期間：令和5年12月13日（水）～令和6年1月19日（金）

**1) 調査回答について**

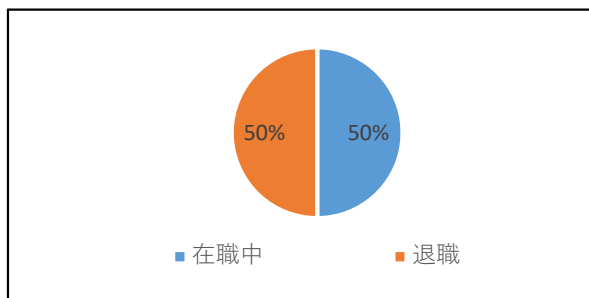
協力する	4
協力できない	
計	4



**2) 在籍状況について**

在職中	2
退職	2
計	4

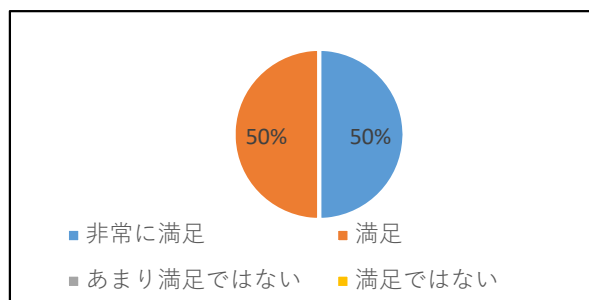
(名)



【以下、設問の対象者が複数人採用の場合は、総体的な観点からご回答をお願いします。】

**3) 対象者について、どう感じていますか。該当するものを選択してください。**

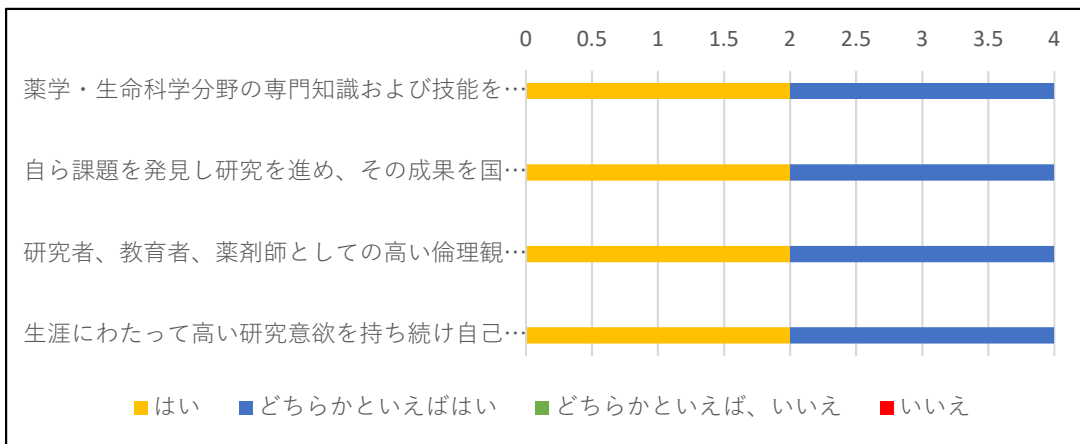
非常に満足	2
満足	2
あまり満足ではない	
満足ではない	
計	4



4) 対象者について、在学中に学んだことは、身につけていると感じていますか。

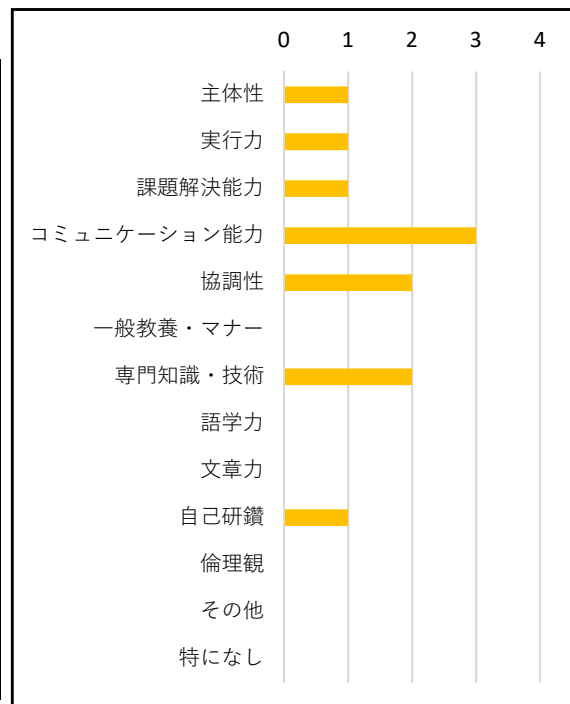
※設問4は、本学ディプロマポリシーを参考に回答ください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
薬学・生命科学分野の専門知識および技能を習得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている。	2	2		
自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている。	2	2		
研究者、教育者、薬剤師としての高い倫理観を備えている	2	2		
生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことが出来る。	2	2		



5) 対象者について、良い点（資質・能力等）について。（複数選択可）

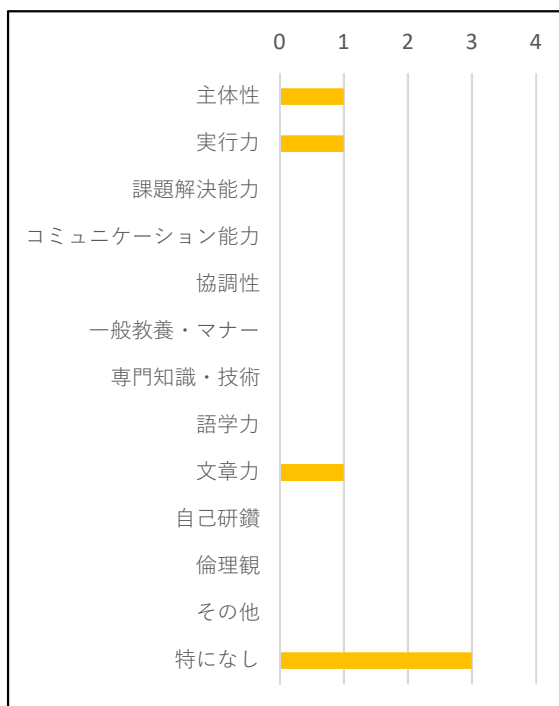
主体性	1
実行力	1
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	3
協調性	2
一般教養・マナー	
専門知識・技術	2
語学力	
文章力	
自己研鑽	1
倫理観	
その他	
特になし	





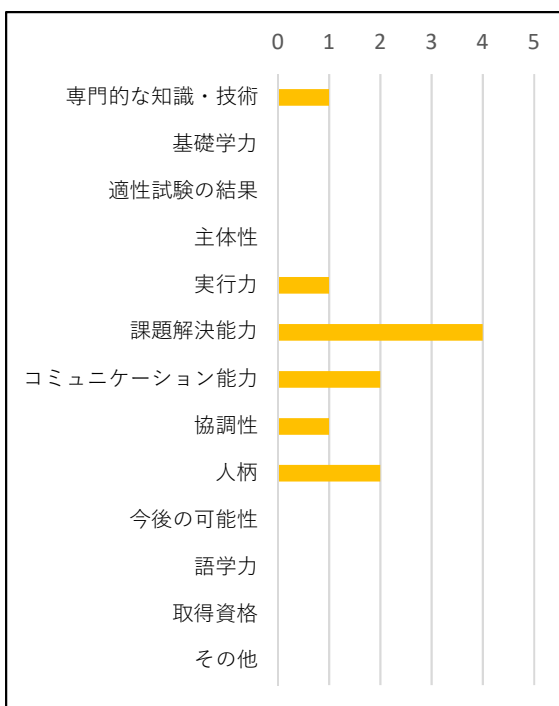
6) 対象者について、不足する点（資質・能力等）について選択してください。（複数選択可）

主体性	1
実行力	1
課題解決能力	
コミュニケーション能力	
協調性	
一般教養・マナー	
専門知識・技術	
語学力	
文章力	1
自己研鑽	
倫理観	
その他	
特になし	3



7) 貴事業所で本学学生を採用選考するにあたり、重要視することを選択してください。（3つまで選択）

専門的な知識・技術	1
基礎学力	
適性試験の結果	
主体性	
実行力	1
課題解決能力	4
コミュニケーション能力	2
協調性	1
人柄	2
今後の可能性	
語学力	
取得資格	
その他	



## 8) その他意見

勉強熱心で、知識も豊富、お話上手であったため、調剤以外のところでも、患者さんや、スタッフ向けの勉強会、学会発表等大いに活躍できるものと期待していた。しかし、コロナ禍での入職で、職員同士の交流はもちろん、様々な事が制限される状況であった。病院薬剤師としてのやりがいや面白さを体験できずに、退職に至ってしまったのは、とても残念に思う。

# 令和5年度卒後調査まとめ (令和3年3月 大学院 薬科学専攻博士課程 前期課程 修了生回答)

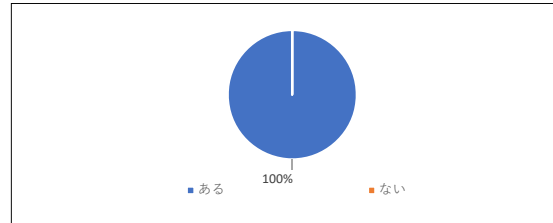
## 対象

卒後3年目 (R3.3月修了) の大学院薬科学専攻博士課程前期課程修了生	7
回答者数	2
回答率	29%

回答期間：令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）

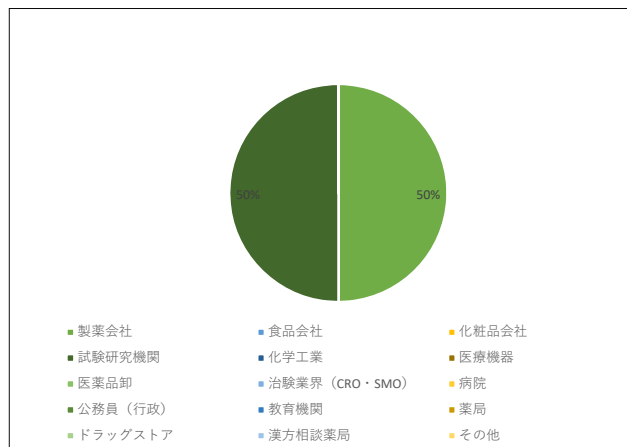
### 1) 修了後、就業したことはありますか？

ある	2
ない	0
計	2



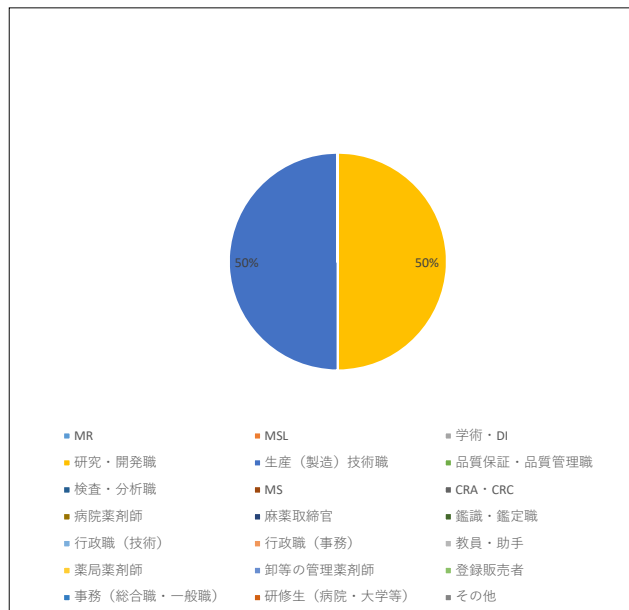
### 2) 修了後、最初に就職した事業所の業種について選択してください。

製薬会社	1
食品会社	0
化粧品会社	0
試験研究機関	1
化学工業	0
医療機器	0
医薬品卸	0
治験業界 (CRO・SMO)	0
病院	0
公務員 (行政)	0
教育機関	0
薬局	0
ドラッグストア	0
漢方相談薬局	0
その他	0
計	2



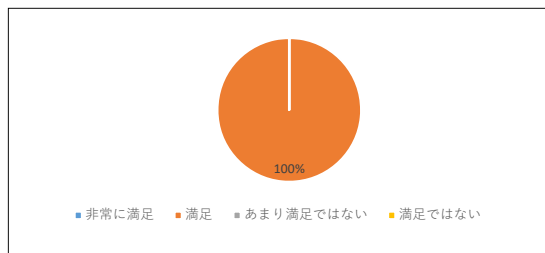
### 3) 修了後、最初に就職した事業所の職種について選択してください。

MR	0
MSL	0
学術・DI	0
研究・開発職	1
生産 (製造) 技術職	1
品質保証・品質管理職	0
検査・分析職	0
MS	0
CRA・CRC	0
病院薬剤師	0
麻薬取締官	0
鑑識・鑑定職	0
行政職 (技術)	0
行政職 (事務)	0
教員・助手	0
薬局薬剤師	0
卸等の管理薬剤師	0
登録販売者	0
事務 (総合職・一般職)	0
研修生 (病院・大学等)	0
その他	0
計	2



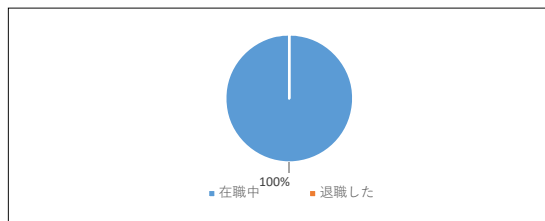
4) 就職先の満足度について選択してください。(満足度)

非常に満足	0
満足	2
あまり満足ではない	0
満足ではない	0
計	2



5) 卒業後、最初に就職した就職先の在籍状況について選択してください。

在職中	2
退職した	0
計	2



6) 5)で退職したと回答した方のみ退職した時期を選択してください。

該当なし

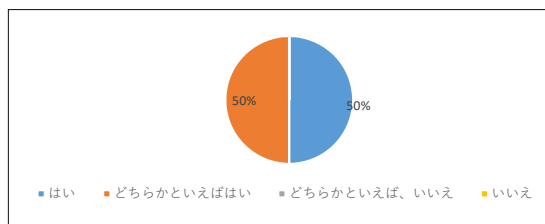
7) 退職の理由について、差し支えない範囲で選択してください。(複数回答可)

該当なし

8) 設問6で退職したと回答した方のみ現在の就職先の業種をご回答ください。

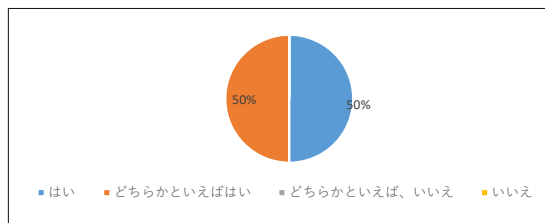
9) 大学院在学時の教育・研究活動に満足していますか?

はい	1
どちらかといえばはい	1
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



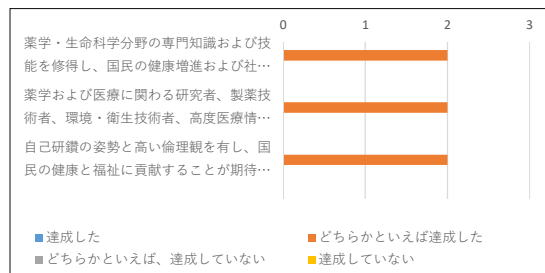
10) 大学院で学んだことは、就業先で役に立っていると感じますか?

はい	1
どちらかといえばはい	1
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



11) 現時点において、本学のディプロマ・ポリシーに掲げている以下の項目の達成度合いはいかがですか

研究に関する基礎知識・理解力・技能を身に付けている	達成した	どちらかといえば達成した	どちらかといえば、達成していない	達成していない
薬学・生命科学分野の専門知識および技能を修得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている。		2		
薬学および医療に関わる研究者、製薬技術者、環境・衛生技術者、高度医療情報提供者としての基礎的能力を身に付けている		2		
自己研鑽の姿勢と高い倫理観を有し、国民の健康と福祉に貢献することが期待できる		2		



12) その他、本学の教育・研究に関するご意見など、何かあればご自由にご記入ください。

# 令和5年度卒後調査まとめ (令和3年3月 大学院 薬科学専攻博士課程後期課程 修了生回答)

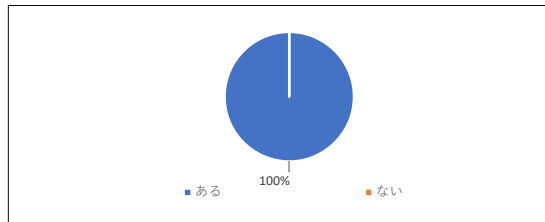
## 対象

卒後3年目 (R3.3月修了) の大学院薬科学専攻博士課程後期課程修了生	2
回答者数	1
回答率	50%

回答期間：令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）

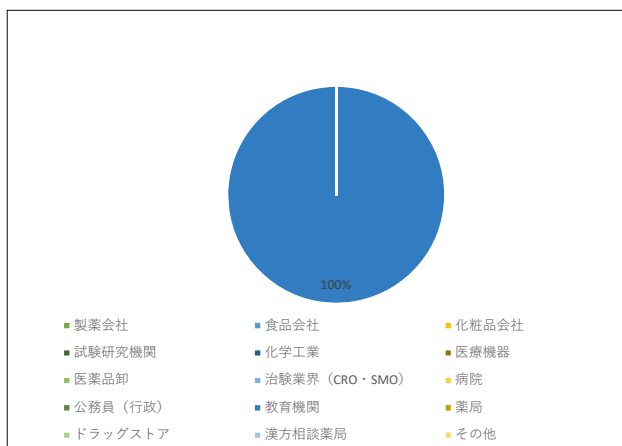
### 1) 修了後、就業したことはありますか？

ある	1
ない	0
計	1



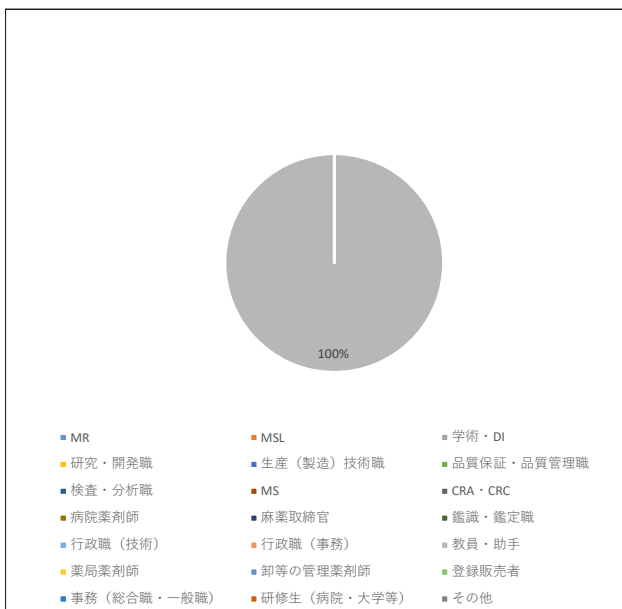
### 2) 修了後、最初に就職した事業所の業種について選択してください。

製薬会社	0
食品会社	0
化粧品会社	0
試験研究機関	0
化学工業	0
医療機器	0
医薬品卸	0
治験業界 (CRO・SMO)	0
病院	0
公務員 (行政)	0
教育機関	1
薬局	0
ドラッグストア	0
漢方相談薬局	0
その他	0
計	1



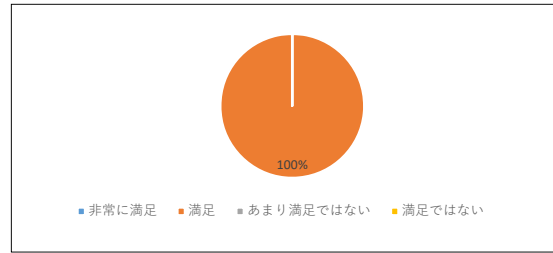
### 3) 修了後、最初に就職した事業所の職種について選択してください。

MR	0
MSL	0
学術・DI	0
研究・開発職	0
生産 (製造) 技術職	0
品質保証・品質管理職	0
検査・分析職	0
MS	0
CRA・CRC	0
病院薬剤師	0
麻薬取締官	0
鑑識・鑑定職	0
行政職 (技術)	0
行政職 (事務)	0
教員・助手	1
薬局薬剤師	0
卸等の管理薬剤師	0
登録販売者	0
事務 (総合職・一般職)	0
研修生 (病院・大学等)	0
その他	0
計	1



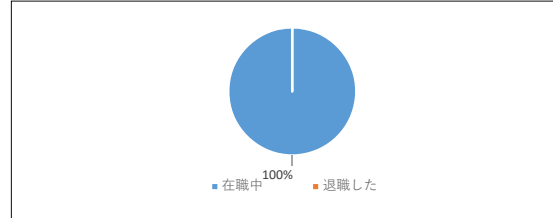
4) 就職先の満足度について選択してください。(満足度)

非常に満足	0
満足	1
あまり満足ではない	0
満足ではない	0
計	1



5) 卒業後、最初に就職した就職先の在籍状況について選択してください。

在職中	1
退職した	0
計	1



6) 5)で退職したと回答した方のみ退職した時期を選択してください。

該当なし

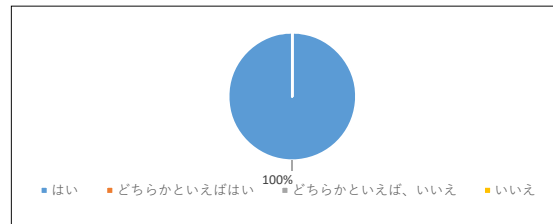
7) 退職の理由について、差し支えない範囲で選択してください。(複数回答可)

該当なし

8) 設問6で退職したと回答した方のみ現在の就職先の業種をご回答ください。

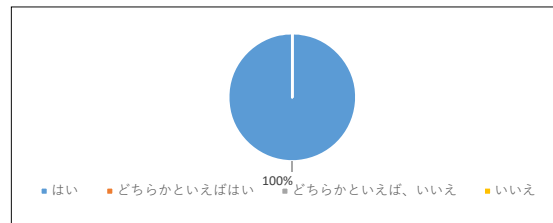
9) 大学院在学時の教育・研究活動に満足していますか？

はい	1
どちらかといえばはい	0
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



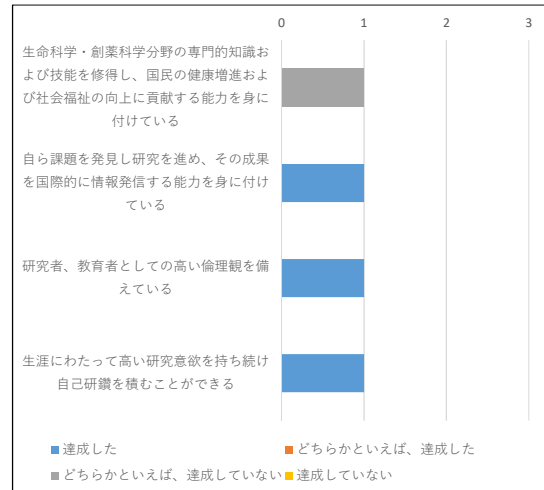
10) 大学院で学んだことは、就業先で役に立っていると感じますか？

はい	1
どちらかといえばはい	0
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



11) 現時点において、本学のディプロマ・ポリシーに掲げている以下の項目の達成度合いはいかがでしょうか

	達成した	どちらかといえば、達成した	どちらかといえば、達成していない	達成していない
生命科学・創薬科学分野の専門的知識および技能を修得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている	0	0	1	0
自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている	1	0	0	0
研究者、教育者としての高い倫理観を備えている	1	0	0	0
生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことができる	1	0	0	0



12) その他、本学の教育・研究に関するご意見など、何かあればご自由にご記入ください。

# 令和5年度卒後調査まとめ (令和3年3月 大学院 薬学専攻博士課程 修了生回答)

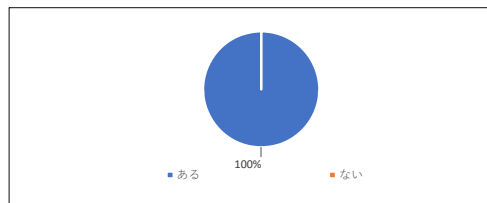
## 対象

卒業3年目 (R3.3月修了) の大学院薬学専攻博士課程修了生	4
回答者数	1
回答率	25%

回答期間：令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）

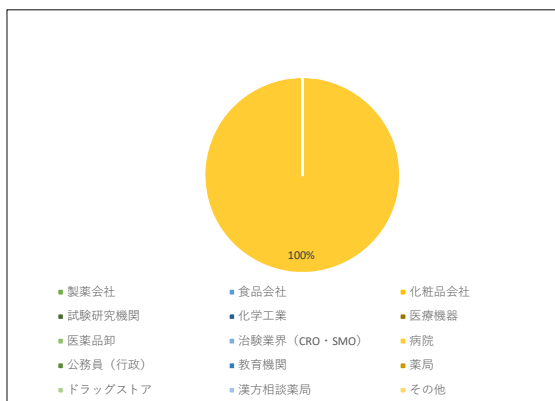
### 1) 修了後、就業したことはありますか？

ある	1
ない	0
計	1



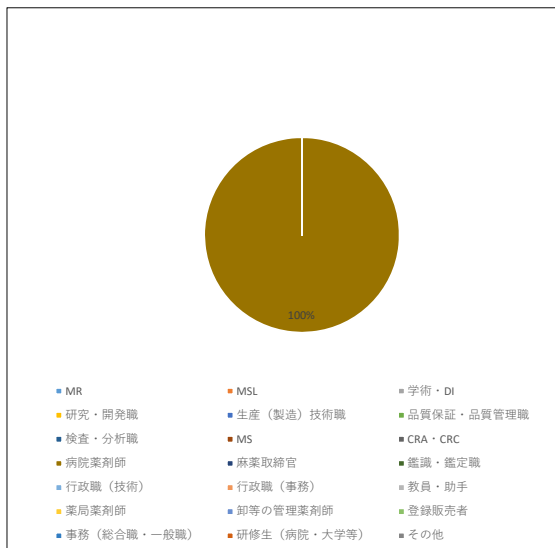
### 2) 修了後、最初に就職した事業所の業種について選択してください。

製薬会社	0
食品会社	0
化粧品会社	0
試験研究機関	0
化学工業	0
医療機器	0
医薬品卸	0
治験業界 (CRO・SMO)	0
病院	1
公務員 (行政)	0
教育機関	0
薬局	0
ドラッグストア	0
漢方相談薬局	0
その他	0
計	1



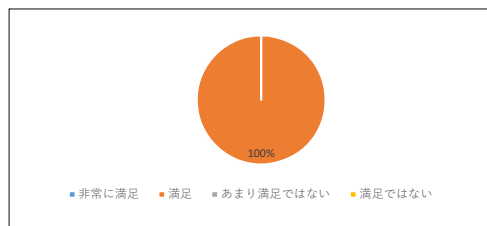
### 3) 修了後、最初に就職した事業所の職種について選択してください。

MR	0
MSL	0
学術・DI	0
研究・開発職	0
生産 (製造) 技術職	0
品質保証・品質管理職	0
検査・分析職	0
MS	0
CRA・CRC	0
病院薬剤師	1
麻薬取締官	0
鑑識・鑑定職	0
行政職 (技術)	0
行政職 (事務)	0
教員・助手	0
薬局薬剤師	0
卸等の管理薬剤師	0
登録販売者	0
事務 (総合職・一般職)	0
研修生 (病院・大学等)	0
その他	0
計	1



### 4) 就職先の満足度について選択してください。(満足度)

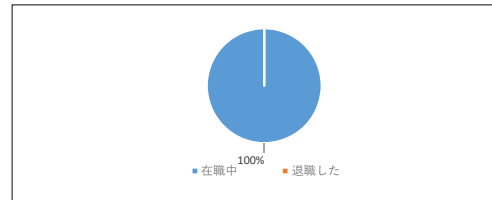
非常に満足	0
満足	1
あまり満足ではない	0
満足ではない	0
計	1





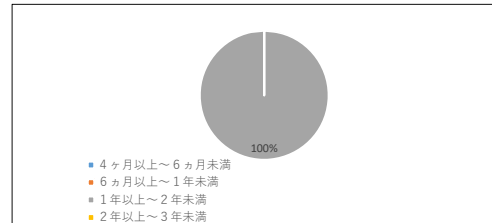
5) 卒業後、最初に就職した就職先の在籍状況について選択してください。

在職中	0
退職した	1
計	1



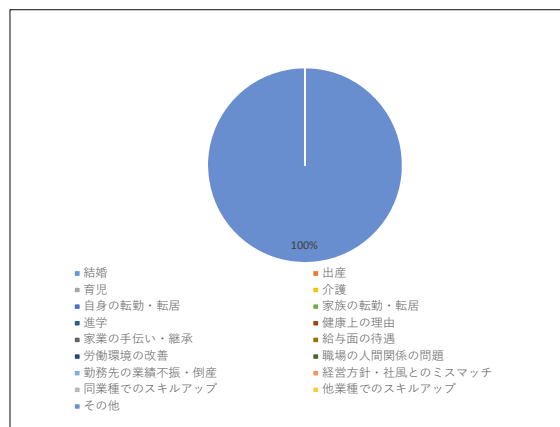
6) 5)で退職したと回答した方のみ退職した時期を選択してください。

3ヶ月未満	0
4ヶ月以上～6ヶ月未満	0
6ヶ月以上～1年未満	1
1年以上～2年未満	0
2年以上～3年未満	0
計	1



7) 退職の理由について、差し支えない範囲で選択してください。(複数回答可)

結婚	0
出産	0
育児	0
介護	0
自身の転勤・転居	0
家族の転勤・転居	0
進学	0
健康上の理由	0
家業の手伝い・継承	0
給与面の待遇	0
労働環境の改善	0
職場の人間関係の問題	0
勤務先の業績不振・倒産	0
経営方針・社風とのミスマッチ	0
同業種でのスキルアップ	0
他業種でのスキルアップ	0
その他	1

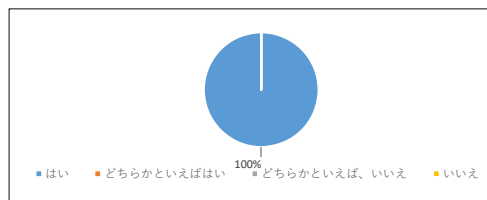


8) 設問6で退職したと回答した方のみ現在の就職先の業種をご回答ください。

教育機関、教員・助手

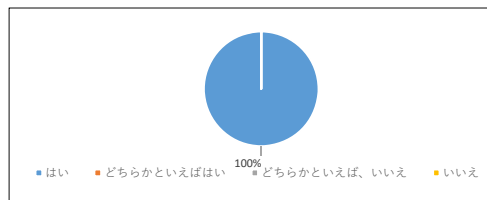
9) 大学院在学時の教育・研究活動に満足していますか？

はい	1
どちらかといえばはい	0
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



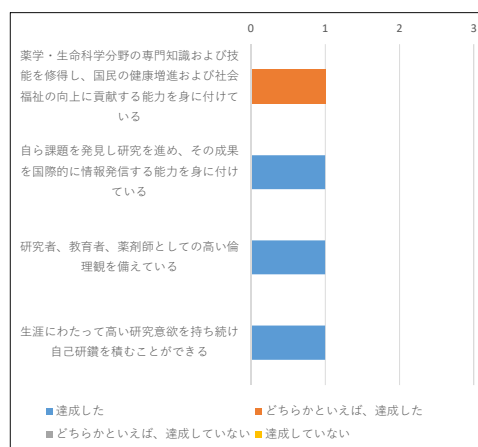
10) 大学院で学んだことは、就業先で役に立っていると感じますか？

はい	1
どちらかといえばはい	0
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



11) 現時点において、本学のディプロマ・ポリシーに掲げている以下の項目の達成度合いはいかがでしょうか

	達成した	どちらかといえば、達成した	どちらかといえば、達成していない	達成していない
薬学・生命科学分野の専門知識および技能を修得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている	0	1	0	0
自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている	1	0	0	0
研究者、教育者、薬剤師としての高い倫理観を備えている	1	0	0	0
生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことができる	1	0	0	0



12) その他、本学の教育・研究に関するご意見など、何かあればご自由にご記入ください。

臨床薬学研修の位置づけ（必修単位であること）が進学希望者あるいは進学者にとってマイナス働いている側面があると感じております。本研修制度を決して否定するものではなく、臨床での活躍を希望する学生にとって魅力のある研修内容だと思います。しかしながら、臨床以外の分野で活躍を希望する学生には半年という時間のロス（研究時間の削減）は進学の懸念材料となっていると思います。院生時代にも諸先生方と意見交換する機会を頂きましたが、本学教員の立場になって見えてきたこともあり、改めてご意見させていただきました。現院生や卒業生の意見を踏まえた上で、大学院の教育体制についても力を入れて頂けると本学大学院出身者としては喜ばしい限りです。どうぞよろしく願いたします。